

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2016
長編コンペティション部門
SKIPシティアワード受賞

第2回 Working Title
Film Festival
Special Mention 受賞

第11回 大阪アジア映画祭
インディ・フォーラム部門

第31回 高崎映画祭
監督たちの現在 - 進取果敢な人々 -

第17回
ニッポン・コネクション
ニッポン・ヴィジョンズ

CAMERA JAPAN
Festival 2017

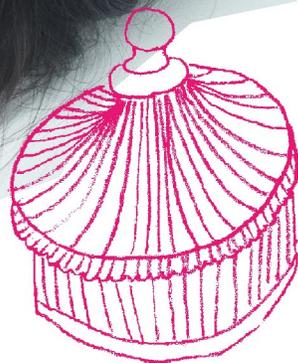
Oxford
Film Festival 2018

忌
中

28歳、売れない女優。

そろそろ本気出す。

由
明
志
雲
大
姉



miewoharu.com

見栄と張り子

久保陽香 岡田篤哉 似鳥美貴 辰寿広美 真弓
倉沢涼央(旧:齋藤雅弘) 時光陸 小柳圭子(特別出演)

監督・脚本:藤村明世

プロデューサー:今井太郎|エグゼクティブプロデューサー:Aldo Andriani|撮影:長田島市|録音・監音:杉本麻志
助監督:永井和男・瀧部鉄平|美術:塩川節子|衣裳・ヘアメイク:磯野由佳|小道具:加賀谷静
制作:山口理沙・水取拓也|編集:瀧部鉄平|音楽:佐藤太樹・大石純生・伊藤智恵|キービジュアル撮影:山田星太郎
配給:太秦|宣伝:平井万里子 日本/カラー-/DCP/93分 ©Akiyo Fujimura



今後の活躍が期待される27歳の新鋭、

藤村明世監督のデビュー作!

人は何故泣くのか?

生者への見栄なのか、死者への浄化なのか?

未熟な女優である主人公は、泣くことを職業にした姉の存在を通して、泣くことの、そして、女優であることの意味を考えていく。爽やかな読後感の残る好編。

—— 是枝裕和



崖っぷちヒロインが新たに挑む仕事は「泣き屋」!?

監督は、是枝裕和監督製作総指揮のオムニバス『十年 日本(仮)』の一篇を手がける新鋭、藤村明世監督。『おくりびと』を彷彿させる、かつて日本にも実在していたという葬儀のための「泣き屋」に着目した『見栄を張る』は、シネアスト・オーガニゼーション大阪(CO2)の助成で製作された長編映画1作目。SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2016でSKIPシティアワード、イタリアのWorking Title Film Festivalにてスペシャルメンションを受賞し

たほか、ドイツ、アメリカ、オランダなど世界の国際映画祭で注目を集めました。

主演は『神さまの轍 Checkpoint of the life』『たまゆら』ほかネクストブレイク必至の久保陽香。体裁を気にする現代人の心の闇や無縁社会で失われゆく人との絆、夢をあきらめきれないヒロインの成長が、女性同士ならではの繊細かつポップな筆致で紡がれた珠玉の感動作がここに誕生!



STORY

周囲には“女優”として見栄を張りながらも、鳴かず飛ばずな毎日をごす絵梨子。ある日、姉の訃報を受け帰郷した絵梨子は、姉が葬儀で参列者の涙を誘う「泣き屋」の仕事を知っていたことを知る。その仕事の真の役割を知らぬまま、絵梨子は女優ならば簡単にできると思い、「泣き屋」を始めてみるのだが…。



3.24(土)から

全国順次ロードショー

★初日舞台挨拶、他トークイベントを予定 (特別前売鑑賞券) (発売中 ¥1,400)
(詳細は劇場または公式サイトまで)

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

tel.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp